

MOIS 2 期生(1 年生)の皆さん、おはようございます。

今日 6 月 1 日が、4 月 7 日の入学式以来、皆さんにとって初めての登校になりました。改めて、入学おめでとうございます。そして、3 月 2 日から 3 ヶ月に及ぶ臨時休校お疲れさまでした。特に GW 明けからは、おそらく誰も経験したことのないオンライン授業 Virtual MOIS にしっかり取り組んで、よく頑張りましたね。

ようやく今日から、分散登校ではありますが、Face to face、顔を合わせての学校生活が始まります。ただ、日本はもちろん世界中が、まだ新型コロナウイルス感染拡大防止のさなかにあります。常に油断することなく、自分が感染しないよう、他人を感染させないよう、新しい生活様式に則って過していきましよう。

さて、今日 6 月 1 日は、大宮国際中等教育学校の開校記念日です。去年は、開校記念式典を執り行い、清水勇人さいたま市長や細田眞由美教育長をはじめ、たくさんの来賓の方々をお招きして、本校の開校をお祝いしました。そんな本校にとって特別な日に今年度のスタートが切れるのも、なんだかとても感慨深いものです。開校記念日にちなんで、本校の 3 つの大きな特長についてお話をします。去年の学校説明会に参加してくれた人は、そこで耳にしているはずの話です。

MOIS の第一の特長は、中高一貫教育を行う中等教育学校であることです。中等教育学校は全国に国公立立合わせて 54 校ありますが、県内では唯一本校だけです。県内には市立浦和中学校・高等学校をはじめ、いくつもの中高一貫校がありますが、これらは全て中学校を卒業して高校に進学する形であって、高校からの入学生もたくさんいます。しかし本校は、全生徒が途切れることの無い 6 年一貫した教育を受ける、完全なる中高一貫校です。

MOIS の第二の特長は、国際バカロレアの導入を目指していることです。本校では 1 年生から MYP ミドル・イヤーズ・プログラムを導入しています。臨時休校期間中の VM も、できるだけ MYP に則った学習を進めてもらいました。日本には MYP 認定校はまだ 19 校しかありません。インターナショナル・スクールを除くと 9 校です。そのうち国立が 2 校、公立はわずか 1 校です。本校も認定校を目指して、候補校の取組を進めています。さらに、その後は後期課程での DP ディプロマ・プログラムの認定校を目指します。

MOIS の第三の特長は、さいたま市の教育方針である 3 つの G を校訓として掲げていることです。簡単には答えの出せない深い学びにより Grit やり抜く力を身に付けます。学び方そのものを学ぶことで Growth 生涯に渡って成長し続ける力を獲得します。その力を人生に活かすだけでなく Global よりよい世界を築くことに貢献できる力に高めていきます。そのために、英語の学習だけでなく、これまでになく様々な形で探究的な学びを深めています。それが「世界の未来のつくり方」を学ぶということです。

皆さんは、これまでの背景や経験は人それぞれ違っていても、3 G の校訓のもと、よりよい世界をつくっていかうという高い志を持って入学してきた、想いを同じくする仲間たちです。誰も見たことのない未来で、皆さんが数々の試練を乗り越えていくために、是非この 3 つの G を常に意識し実践して、よりよい、より平和な世界を築くことができる人間に成長して欲しいと願っています。

未来の正解は一つではありません。何が正解なのかも、遠い未来から振り返らなければ分かりません。たくさんの答えを見つけ出し作り出して、その中から最も適切な答えを選び取っていく必要があります。そのためには、個性を尊重し、様々な考えを発表し、互いに認め合い、高め合い、学び合ってください。

新型コロナウイルス感染拡大との世界的な闘いも、その学びの機会の一つです。世界中の様々な立場の人たちが、新型コロナウイルスに立ち向かっています。せめて私たちも、どんな取組がこの闘いにおいて効果的だったのか、見極めていきましょう。そして、今、自分に、自分たちにできる最善のことは何か、考えて実践しましょう。

最後に、困った時、辛い時には、同じ志を持って入学してきた仲間たちの存在を思い出してください。また、皆さんを支えてくれているご家族や、先生方、たくさんの人たちのことを忘れないでください。一人で抱え込まずに、色々な人に相談してください。思いを声にして、文字にして、伝えてください。皆さんが、ともに切磋琢磨しながら成長し、やがて世界にとってかけがえのない一人一人になっていくことを、心から願っています。